

臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名： 非典型的所見を有する IPF に対する抗線維化薬の効果の検討』

【研究の背景および目的】

ピレスパは特発性肺線維症 (IPF) 患者を対象に有意に努力肺活量 (FVC) の低下を抑制することが知られています。しかしながら、非典型的所見 (非特異性間質性肺炎: NSIP、上葉限局型肺線維症: PPFE) を合併する症例に対する効果は不明です。

そこで、東邦大学医療センター大森病院呼吸器内科では、典型的な IPF と非特異的所見を有する IPF について FVC の推移を検討し、有効性を比較することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、非特異的所見を有する IPF に対するピレスパの効果が確認できます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2008 年～2017 年までに東邦大学医療センター大森病院呼吸器内科においてピレスパの投与を受けた症例で、6か月以上内服が可能であった症例 (約 60 例) を対象とします。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や病理解剖結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

呼吸器内科

職位・氏名 准教授・坂本 晋

電話 03-3762-4151 内線 6555